



金井中学校だより



2024年6月17日第3号

「紫陽花（あじさい）の映える優しい雨を」

校長 松岡 健

体育祭が終了して、6月も中旬を迎えました。関東地方は、未だ梅雨入りは宣言されていないものの、今年度は傘のさす機会が多いような気がしています。また、通勤や通学の際には、傘をさしても服が濡れてしまい、不快感に苛まれるような機会も多くあります。でも、不快指数の高いこの時期に心とませしてくれるのが住宅の庭や公園の花壇に咲く紫陽花です。赤、青、紫の花は雨や曇り空にも実に良く映ります。本校の理科教員に紫陽花の色違いの理由を聞いてみると土に含まれる成分が酸性に近ければ青色、アルカリ性に近ければ赤色、中性なら紫色に生えるとの知識をもらいました。アントシアニンという色素が影響しているとのことです。

（なお、白の紫陽花についてはこの色素がないようです。）

さて、ここ数年、この時期に心配なことがあります。紫陽花を鑑賞する余裕すらないような強い雨が aumentando している気がするのです。温暖化の影響で線状降水帯が発生し、急な雨が降り注ぎます。一方で、この時期のまとまった雨量を必要とする人がいます。農作物を育て、収穫する人たちです。田に植えた稲の苗、畑に植えた野菜の種等が成長するためには十分な水分が必要不可欠です。この水分と夏場の太陽が秋の収穫に繋がります。このことが年間を通して、十分な食材が供給されたり、学校であれば弁当給食の提供ができたり、調理実習の実施ができたりするのです。

雨は、屋外運動部の公式戦にも大いなる影響があります。総合体育大会（選手権大会）は、3年生の2年3カ月余りに及ぶ活動の集大成となり、風やピッチコンディションを考えた対応も必要となります。また、少しでも長い時間、仲間とプレーするには、勝利が必要という非情な部分もあわせもちます。そのような折、いくつかの公式戦を観戦する機会がありました。ユニフォームやゼッケンに「金井中」とかかれたものを身に付けているのを見ると、鳥肌が立つような感覚に襲われます。応援にも力が入りました。結果、勝敗は様々でしたが、顧問教諭の思いを感じるステキな場面もありました。この先どの部活動にもやってくる世代交代があっても、下級生がその伝統を引き継いでくれると確信しています。

梅雨は春夏秋冬のあるわが国では避けて通れないものです。しかしながら、自然災害から命や健康を守ること、農作物の安定した収穫があること、そして、生徒の登下校や部活動の公式戦のためにも、今年は「紫陽花の映える優しい雨」を期待したいものです。

<体育祭参観のお礼>

6月1日の体育祭には多くの方に生徒の走る、跳ぶ、投げる、応援する、支える姿を見ていただいたことうれしく感じています。閉会式でも話をさせていただいたように本校の良き伝統が引き継がれている体育祭になりました。来年度以降も創造と継承を重ねてまいります。



第41回 体育祭					
学年・種目	総合優勝	大縄跳び	全員リレー	選抜リレー女子	選抜リレー男子
3年生	2組	2組	2組	2組	2組
2年生	4組 5組	5組	4組	4組	1組
1年生	4組	4組	3組	4組	3組

<部活動での活躍>

バドミントン部

青少年の日 スポーツ大会

中学女子ダブルス 第3位

陸上競技部

第75回地域別大会

男子西部共通 棒高跳び 第4位 2M60

<熱中症予防と夏季期間の屋外体育活動について>

6月も半ばを過ぎ、夏日（最高気温30度）になることも多くなってきました。金井中学校では、熱中症予防の指標となるWBGTの値を日に3回以上測定をしています。それに伴い、屋外体育実技（水泳を含む）と屋外運動部（ソフトテニス、陸上競技、野球、サッカー）の活動については、今年度のガイドラインを以下のようにします。

○環境省による熱中症**特別**警戒アラートが東京都に発出・・・活動、遠征を中止

（ただし、都大会等公式戦については主催者の判断に従うことがある）

○熱中症警戒アラートが東京都に発出・・・WBGTを計測し、31以下の場合は1時間以内の活動を行う場合がある。31以上の場合は、室内での活動等に切り替える。

*室内部活動であっても、登下校や活動場所への移動は、暑さの中になります。また、体育館等エアコン稼働の場所についての活動は危険がないわけではありません。指導者、顧問も練習内容の質と量を鑑みながら活動させてまいります。健康状態を確認の上、送り出していただければと思います。